

スペシャリストを養成し、顧客の求める製品を提供

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



手がける小型成形製品

業務内容 自動車や家電などあらゆるプラスチック部品の製造

「森田ライト工業」は、昭和22年創業の「信（約束を決して破らない）、義（正しい事を行う）、仁（相手の立場になって物事を考える）」を行動指針に掲げるプラスチック成形加工会社。創業時は熱硬化性樹脂で二股ソケット、電気シェーバーなどの外装部品を主に手がけていたが、昭和40年にグループ会社の（株）森田電器工業所（滋賀県彦根市）が完成品の組立を始めたことで、成形から組立までの加工体制が整った。

現在は熱可塑性樹脂で車載用部品や浄水器、バーコードリーダーなどを製造し、加工するプラスチック部品は年々増加している。

強み プラスチックの成形から組立まで対応

プラスチック成形に必要な金型の製作から組立まで一貫した加工が強み。外装部品は、表面にわずかな傷や汚れでも不良品になる。そこで同社は国家資格「プラスチック成形技能士」の取得を社員に奨励し、現在1級5名、2級7名が技能士の資格を持つ。彼らが金型メーカーとの打ち合わせ時に助言することで、不良品の少ない高精度な金型を製作できる。

さらに、同社には成形加工（インサート成形など）や二次加工（めっき、塗装、シルク印刷、組立など）を依頼できる協力会社が数十社あり、加工における情報の共有により、顧客の求める要望に対応できている。

生産体制 営業にも技能士を配置し、顧客の要望に応える

顧客の要望に応えるべく、さまざまなことに取り組んでいる。環境保証の国際規格

ISO14001（平成18年）、品質保証の国際規格ISO9001（平成25年）をそれぞれ取得したほか、「プラスチック成形技能士」の資格を持つ社員を営業にも配置した。これにより金型メーカー、顧客との打合せ時に、最適な加工方法を提案でき、従来より短納期かつ高品質な部品加工を実現。

また、品質管理・金型製造・射出成形に長けた技術者を複数名迎えたことで「品質を確保し、これまで以上に取引先の求める製品づくりができた」と森田社長は胸を張る。

今後の展望 生産管理システム導入で生産効率化へ

今後は、工場内の各機械を常時監視できる体制を整える。現在、大阪府守口市と彦根市に計3工場あり、1カ所で各工場の稼働状況をすぐに把握するのは難しく、また社員が在庫を確認するのも時間がかかっていた。

そこで平成29年度中に、各機械をシステムのネットワークでつなぎ、1つの画面で各工場の状況を確認できる体制を整える。これにより、各工場の生産状況（生産数、不良数、在庫数、成形機の稼働率、成形機保守保全、金型メンテナンスなど）をリアルタイムに確認でき「従来よりも顧客の要望に柔軟に対応できる」と森田社長は期待する。



プラスチックの射出成形機



本社外観

当社の歴史



昭和22年にプラスチック成形加工を手がけるものづくり会社として創業しました。現在は「信・義・仁」の考えで、家電製品、車関連製品の外装部品・機構部品を製造しています。今後は、自社工場同士をつないだ生産管理システムを導入して、生産の効率化により顧客満足度の高い製品を提供し続けます。

代表取締役社長 森田 洋さん

ISO 9001
ISO 14001

主な事業内容

車載関連、家電関連のプラスチック成形部品の製造

主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー、
家電メーカー、
浄水器関連部品メーカー

- 住所 〒570-0083 守口市京阪本通2-10-28
- TEL 06-6991-2534
- FAX 06-6991-5426
- 創業 昭和22年6月
- 設立 昭和37年8月
- 資本金 1,350万円
- 従業員 82名